

名護市教育委員会議事録

会議名	第 287 回名護市教育委員会定例会			
開催日時	平成 30 年 8 月 31 日 (金) 開会 13 : 55 閉会 16 : 00			
開催場所	名護市役所 第 2 ・ 3 委員会室			
出席者	教育長 委員 (教育長職務代理者) 委員 委員 委員	岸本敏孝 照屋厚 宮城博 大城千代子 名嘉チエミ	教育次長 (教)総務課長 文化課長 学校教育課長 学校教育課主幹兼指導主事 文化スポーツ振興課長 (教)総務課総務係長 学校指導係長 文化振興係長 ほか担当職員	中本正泰 仲井間修 比嘉久 仲宗根勝也 新垣みゆき 平得薫 玉城利和 吉田純 渡具知武勝
欠席者				

1 議案

議案第 33 号 平成 30 年度名護市一般会計補正予算 (教育費予算 (補正第 3 号)) の要求について

議案第 34 号 平成 31 年度小中一貫教育校を除く 11 小学校における教育課程特例の導入について

2 内容

- ・ 議案第 33 号 平成 30 年度名護市一般会計補正予算 (教育費予算 (補正第 3 号)) の要求について

((教)総務課長より説明)

委員：児童生徒等の県外派遣等に係る補助金交付事業において例年 1 千何百万円の支出となっているが、当初予算額では 800 万円程度しか組み立てられておらず毎年補正を行っているが、例年の実績に基づき当初予算で組むことは出来ないのか。

(教) 総務係長：当初予算で組み立てられている 800 万円あまりは単費となっている。当事業は子ども夢基金事業が創設される以前から実施していたので、もともと単費での予算計上をし、単費が不足した場合について子ども夢基金から補正し充てていくといった流れになる。これまでの実績の推移を元に当初予算での計上も検討したことはあったが、子ども夢基金の活用についてはあくまでも補正対応ということで当初予算と分けている。

(文化課長より説明)

教育次長：名護市内の埋蔵文化財遺跡については、市は調査をする立場をとっていくので、基地の中であっても名護市教育委員会が関わっていくという考えた方がある。沖縄防衛局のほうが工事に伴うという形で依頼がきており、それについても名護市教育委員会としては調査をしていく立場である。沖縄県の方には名護市教育委員会の方から調査員派遣依頼

を行っており、調査員数は限りがあるため相談しながら派遣していただいている。その予算を今回計上している。懸念するのが、名護市教育委員会が対応できないのであれば国のほうで調査を実施するといった形になると、シュワブ内の埋蔵文化財調査が我々の手から離れてしまう。地元の教育委員会は地元の発掘については関わっていくと考えているので、予算化を考えている。

委員：遺跡等については写真でしか資料を残せないのか。現物を移動させたり新博物館に展示したりはできないのか。

文化課長：3Dで撮影しており、そのまま復元できるといった状態で記録をとっている。

(文化スポーツ振興課長より説明)

委員：21世紀の森体育館を以前に台風の影響で屋根を修繕した経緯があるが、その後の状況はどうなっているか。

文化スポーツ振興課長：来年の高校総体にむけて2階の手すり等を改修していくが、来年度の実施計画にあげて、雨漏りの関係で床が剥離している状況が多いため対応していきたいと考えているが、高校総体の空手の際はマットを敷いて対応し、支障をきたさないようにするので今回の補正には入れてはいない。

委員：体育館と陸上競技場については古くなっているので総合運動公園構想の中に入れていって新しく良いものをすすめていただきたい。

文化スポーツ振興課長：スポーツ合宿等にも対応できるような環境を作っていけたらと考えている。陸上競技場についても耐震対応するようなものを実施計画にあげているところである。

(採決の結果、原案のとおり承認)

・議案第34号 平成31年度小中一貫教育校を除く11小学校における教育課程特例校導入について

(学校教育課長より説明)

委員：教員のスキルアップについて意識向上が必要。また、学級経営の方法が変わると教員の負担が多くなるため、教員のメンタル面のケアも必要だと思う。教材教具の共有フォルダにおいて、学校パソコンの共有の仕方が中途半端になっており中々共有できていないのが課題。教材教具は個人で作ると間に合わないの、共有し配布することによって時間を短縮しないと指導力向上にも結びつかないのではないかと。それから休業期間の変更について教えてもらいたい。

学校教育課指導主事：小学校教諭のスキルアップについては、1・2年生に関してはJTEを各学校に配置し、ALTと一緒に1・2年生の授業を作っていけるように配置計画をしている。共有フォルダについては既に作成しており、今年度中は優良教材の収集を行い、3学期以降に自由に活用しながら次年度からすぐに活用でききるよう共有できたらと考えている。休業期間の変更については、次年度、小学校3年生からの英語教育について全面実施するというのを昨年度決定している。休業日を短くすることによって英語の時間を増やすというような案を練っているところで作成次第、校長先生た

ちに提案する。案としては夏休みは変更せず、春休みを変更するのが妥当ではないかと考えている。

委員：沖縄市、那覇市、恩納村の教育課程特例校廃止の詳しい説明をしてほしい。

(学校教育課指導主事により教育課手特例校廃止について説明)

委員：教育課程特例校の準備はいつからしていたのか。

学校教育課指導主事：前年度から進めていた。

委員：実施状況報告とあるがどこに提出するのか。学校評価に入れるのか。

学校教育課指導主事：実施報告書は文科省へ作成、アンケート等を子どもたちから取り保護者や地域へ。学校評価へ入れ込む。

委員：内容については素晴らしいと思うが、ALT・JTEも含め教諭等の人員確保や教員の質が心配だがそのへんはどう考えているか。

学校教育課指導主事：ALT・JTEも含め教員等の研修会等も継続的に行っており、意識も高くなっているのでスキルアップも早く、授業改善に関しては小学校は進んでいるのでそこまでの心配はしていないが、次年度についてはALTの配置は手厚くしていきたいと考えている。

(採決の結果、原案のとおり承認)